

船橋市感染症予防計画の数値目標（案）

■ 数値目標設定における前提

- 船橋市感染症予防計画（素案）の38ページ別表（数値目標）に記載の現時点の目標値は、厚生労働省が提示した「都道府県、保健所設置市及び特別区における予防計画策定の手引き」（以下、「手引き」という。）における下記の数値目標に関する考え方や千葉県の考え方を参考に本市における新型コロナウイルス感染症対応時の実績に基づき設定しています。
- 目標値は今後、県が策定する県予防計画における県全体での目標値を踏まえ、県、県内保健所設置市（千葉市・柏市）と調整していくことが予定されており、この度提示した目標値が変更されることも想定されますことをご承知おきください。

■ 数値目標について（設定する項目に○を記載）

区分		目標項目		流行初期	流行初期以降
(1)	検査体制	検査能力、検査機器 確保数	市衛生試験所の 検査の実施能力	○	○
			市衛生試験所の 検査機器の数	○	○
(2)	宿泊療養体制 (任意)	宿泊施設確保居室数	確保居室数	○	○
(3)	人材の養成・ 資質の向上	保健所職員等の研修・ 訓練回数	保健所において感染症有 事体制に構成される人員 全員が受講できるよう実 施した研修・訓練の回数	○※	
(4)	保健所の体制 整備	人員確保数、 即応可能なIHEAT要員 の確保数 (IHEAT研修受講者数)	流行開始から1か月間 において想定される業務量 に対応する人員確保数	○※	
			即応可能な IHEAT 要員の 確保数 (IHEAT 研修受講者数)	○※	

※「手引き」では「(3) 人材の育成・資質の向上」及び「(4) 保健所体制の整備」について流行初期における目標と区分されているが、平時からの取り組みを目標とする。

・ 数値目標に関する考え方

区分		目標項目		流行初期	流行初期以降
(1)	検査体制	検査能力、検査機器 確保数	市衛生試験所の 検査の実施能力	180件/日	180件/日
			市衛生試験所の 検査機器の数	3台	3台

【考え方】

検査体制については、手引きでは地方衛生研究所（船橋市の場合は船橋市保健所の検査部門である「船橋市衛生試験所」がこれにあたる。）の、最大検査能力を目標とすることとなっております。

区分		目標項目		流行初期	流行初期以降
(2)	宿泊療養体制	宿泊施設確保居室数	確保居室数	100室	158室
		新型コロナウイルス対応の宿泊施設の確保居室数（実績）		令和2年5月頃 100室	令和4年3月頃 158室

【考え方】

宿泊療養体制については、手引きにおいて流行初期（令和2年5月頃）と流行初期以降（令和4年3月頃）の確保居室数を目標とすることとなっております。

※保健所設置市では任意項目となっております。

区分		目標項目		流行初期	流行初期以降
(3)	人材の養成・ 資質の向上	保健所職員等の研 修・訓練回数	保健所において感染症有 事体制に構成される人員 全員が受講できるよう実 施した研修・訓練の回数	年1回以上	

【考え方】

人材の養成・資質の向上については、手引きでは保健所の感染症対応業務を行う人員に、研修・訓練を年1回以上実施することを目標とすることとなっております。

研修や訓練の実施にあたっては、全ての市職員を対象としたeラーニング研修と、保健所の職員及び保健師等を対象とした実践的な訓練を想定しております。

区分		目標項目		流行初期	流行初期以降
(4)	保健所の体制 整備	人員確保数、 即応可能なIHEAT要員 の確保数 (IHEAT研修受講者数)	流行開始から1か月間 において想定される業務量 に対応する人員確保数	260人	
			即応可能な IHEAT 要員の 確保数 (IHEAT 研修受講者数)	10人	

※IHEATとは感染症まん延等の健康危機が発生した場合に地域の保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する仕組みです。医師、保健師、看護師のほか、歯科医師、薬剤師、助産師、管理栄養士などが、保健所等への支援を行うIHEAT要員として、人材バンクに登録されています。現時点でのIHEAT要員の登録管理は都道府県が行っています。

【考え方】

・保健所の体制整備「人員確保数、即応可能な IHEAT 要員の確保数」の「流行開始から1か月間において想定される業務量に対応する人員確保数」については、手引きでは新型コロナウイルス感染症の第6波と同規模の感染が流行初期に発生した場合に、流行開始から1か月間において想定される業務量に対応する1日あたりの人数を目標としており、船橋市のコロナの第6波の体制（令和4年1月）を参考に設定しました。

目標項目の「流行開始から1か月間において想定される業務量に対応する人員確保数」には常勤職員、会計年度任用職員、応援職員、派遣職員等の合計です。また、宿泊施設の運営に必要な人工（31人工）を含んでいます。

なお、目標とする人数については今後関係部局や県等と協議する予定です。

・「IHEAT 研修受講者数」については県が実施した IHEAT 登録者に対するアンケートから、本市における IHEAT 要員数を推計しました。

なお、千葉県では新型コロナウイルス感染症対応における IHEAT 要員の活用実績はありませんでした。